

## 福島第一原子力発電所 土壌 Pu 分析結果

## 1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

採取場所 ( )は1,2号機スタックからの距離	採取日 分析機関	Pu-238	Pu-239, Pu-240
グランド(西北西約500m)	5月30日	$(1.9 \pm 0.16) \times 10^{-1}$	$(6.6 \pm 0.90) \times 10^{-2}$
野鳥の森(西約500m)	日本分析 センター	N.D.	N.D.
産廃処分場近傍(南南西約500m)		$(4.7 \pm 0.74) \times 10^{-2}$	$(2.1 \pm 0.49) \times 10^{-2}$
国内の土壌		N.D. ~ $1.5 \times 10^{-1}$	N.D. ~ 4.5

: 文部科学省「環境放射線データベース」昭和53年~平成20年

: 「グランド」「産廃処分場近傍」は、過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。「野鳥の森」は同じポイントを深さ方向に採取(採取不可となった時点でポイント変更)

## 2. 評価

検出された Pu-238 と Pu-239、240 の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

なお、グランドならびに産廃処分場においては、3/21 以降にサンプリングした試料から Pu-238 および Pu-239、Pu-240 が検出されているが、値に大きな変化は見られていない。

以上